



2024 年 6 月 20 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

大学ミュージアムで活躍する学生たち。その活動の重要性とは？
どなたでも参加できる 4 大学の研究者による国際的なオンラインイベントのご案内
ーメルボルン大学×シンガポール国立大学×九州大学×慶應義塾大学ー

慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo) は、2021 年の設立当初から、学生が、展覧会を訪れさまざまなプログラムを享受するだけではなく、その企画や運営に主体的に参加することを重視し、ミュージアムと学生の多様な関わり方を模索してきました。このたび「大学ミュージアムにおける学生参加の拡大」をテーマとする、オンライン視聴が可能なインターナショナル・ラウンドテーブルを開催します。メルボルン大学、シンガポール国立大学、九州大学より、大学ミュージアムの現場に携わる研究者を招き、学生をミュージアムの活動の中心に据えその参加のあり方を多様化していくことについて議論し、最近の実践や発見、そして課題を共有します。大学ミュージアムの取り組みに関心のある方は、是非ともお申し込みください。

1. 基本情報

タイトル：大学ミュージアムにおける学生参加の拡大

日時：2024 年 7 月 4 日（木）18:30 ～20:45（日本時間）

場所：オンライン（Zoom Webinars）

参加方法：どなたでもご参加いただけます。下記 URL よりお申し込みください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_hm5dBeTrTgu98NgLM0v5Gg

言語：英語（自動翻訳字幕提供予定）

主催：慶應義塾ミュージアム・コモンズ

ウェブサイト：<https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20240615/>

2. イベントの概要

慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo) は、2021 年の設立当初から、学生が、展覧会を訪れさまざまなプログラムを享受するだけではなく、その企画や運営に主体的に参加することを重視し、ミュージアムと学生の多様な関わり方を模索してきました。

博物館学芸員課程への協力に留まらず、展覧会や公開プログラムを学生と共同で企画するなど、さまざまなアプローチを試みています。特に異なる専門領域の学生が参加する、学生主導のプロジェクト「KeMCoM（ケムコム）」の活動は、KeMCo にとって欠かせないものとなっています。

このような背景から、「大学ミュージアムにおける学生参加の拡大」をテーマとする、インタ

ーナショナル・ラウンドテーブルを開催します。このラウンドテーブルでは、学生をミュージアムの活動の中心に据え、その参加のあり方を広げて多様化していくことに焦点を当てます。この領域における最近の実践や発見、そして課題を共有する機会となることを願っています。

3. プログラム（予定）

※ タイトル、登壇者プロフィールなど詳しくはウェブサイトで随時お知らせいたします。

・ショート・レクチャー

- ・ エレナ・デル・メルカート（メルボルン大学、ミュージアム・コレクション担当エンゲージメント・ディレクター）
- ・ イェ・トゥー（シンガポール国立大学、NUS Museum キャンパス・コミュニティ&パブリック・エンゲージメント担当エグゼクティブ）
- ・ 三島 美佐子（九州大学、九州大学総合研究博物館 教授）
- ・ 宮北 剛己（慶應義塾ミュージアム・コモンズ、専任講師）
- ・ 本間 友（慶應義塾ミュージアム・コモンズ、専任講師）

・ディスカッション

・質疑応答

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：唐・寺西）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>